

あいち農産物生産流通レポート

令和元年9月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・「あいち型植物工場環境制御ガイドライン(トマト、ナス、イチゴ)」を作成 (農業総合試験場)	1
◎ 地域トピックス	
・ 県内トップを切って新米出荷！ あいち米初出荷式が開催されました！ (海部農林水産事務所)	2
・ ラグビーワールドカップ2019in愛知・豊田で地元の食をPR (豊田加茂農林水産事務所)	3
◎ 東日本情報	
・ 愛知県産いちじくに求められている課題について (東京事務所)	4
◎ 西日本情報	
・ 「かりもり」のほ場見学と漬け込み体験事業を実施しました (園芸農産課)	6
・ 愛知のふるさと食品コンテストを開催しました (食育消費流通課)	7
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	9
・ 名古屋・東京市場における青果物の9月の見通し	10
◎ 花き	
・ 切花・鉢花の9月の見通し(県内市場)	22

※今月、「フラワーページ」はありません。

内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

平成29年4月号から、「全国における主要農産物の輸出入実績」、「関連指数」のページはなくなりました。それぞれの情報につきましては、

【輸出入実績】

農林水産省ホームページ内「農林水産物輸出入統計」
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/index.html>

【消費者物価指数】

全 国：総務省統計局ホームページ内「消費者物価指数月報」
<http://www.stat.go.jp/data/cpi/>
名古屋：愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」
<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/bukka.html>

【農作物価指数】

農林水産省大臣官房統計部「農作物価統計調査」
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noubukka/>

【名古屋市小売価格】

総務省統計局「小売物価統計調査」
http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_

を御覧ください。

「あいち型植物工場環境制御ガイドライン（トマト、ナス、イチゴ）」を作成

農業総合試験場

愛知県は、太陽光を利用した施設で、施設内の温度、湿度、二酸化炭素（CO₂）を常時モニタリングしながら環境を制御する「あいち型植物工場」の普及を進めています。農業総合試験場では、愛知県経済農業協同組合連合会及びトヨタネ株式会社とトマト、ナス、イチゴについて、あいち型植物工場における高収益生産技術を開発するため、共同研究を行っています。その成果を「あいち型植物工場環境制御ガイドライン（トマト、ナス、イチゴ）」（2019年3月公表）にまとめたので紹介します。

1 ガイドラインの概要

（1）トマト

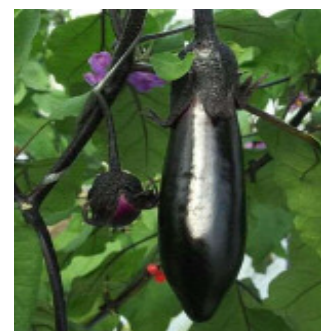
2016年に公表した「あいち型植物工場マニュアル（トマト編）」に掲載した環境制御技術に加え、環境制御下における栽培管理のポイントとして、①収量を増加させるための養液組成（リン、カリウムの増肥及びアンモニア態窒素施用の削減）、②CO₂施用下での摘葉管理（強摘葉を避け、葉面積を確保する）等を記載しました。



トマト摘葉試験の様子

（2）ナス

本県の主要品種である「千両」、「とげなし輝楽」の栽培における環境制御のポイントとして、①CO₂施用方法（濃度 500～600ppm、日中施用）、②CO₂施用下における温度管理（高温管理により収穫果数が増加し、肥大不良の果実である石ナス果の発生が減少）等を記載しました。



石ナス果(左)及び正常果(右)

（3）イチゴ

高設栽培での試験結果を基に、環境制御のポイントとして、①イチゴの収量増加に効果的なCO₂施用方法（濃度 700ppm、日中施用）、②CO₂施用下における温度管理（最低温度 8℃で加温、クラウン加温時は施設の最低温度を 5℃まで低下可能）等を記載しました。



イチゴ栽培試験の様子

2 関連資料

ガイドラインでは、上記の主な栽培のポイントの他、品目ごとに環境制御指針及び経営モデルをまとめています。また、施設の環境制御に必要な機器・資材の情報についても紹介しています。

なお、ガイドラインは、県農業総合試験場 Web ページ (<https://www.pref.aichi.jp/sos-hiki/nososi/>) の「研究の成果（技術情報）」から入手可能です。

県内トップを切って新米出荷！ あいち米初出荷式が開催されました！

海部農林水産事務所

愛知県では、8月上旬から10月にかけて「あいちの新米」の収穫が続きます。
早場米の産地である弥富市鍋田では、令和元年8月10日（土）に県内のトップを切って今年の新米が出荷されました。

1 令和元年産あいち米初出荷式

J Aあいち海部鍋田支店集出荷場で、J Aあいち海部、J Aあいち経済連の主催により、あいち米の初出荷式が開催されました。初出荷式には、管内の出荷関係者のほか、朝日県議（弥富市）、中根農業水産局長などの県関係者も臨席しました。

一日検査員を委嘱されたミス弥富による出荷米の検査、出席者によるテープカットなどのセレモニーが行われた後、「あきたこまち」1,361袋（1袋30kg）を積んだトラックが集出荷場から出発しました。出荷された米はすべて1等米で、翌日11日からAコープを始めとした県内スーパーで販売されます。

J Aあいち海部鍋田支店管内では、約345haの作付面積のうち早場米の「あきたこまち」と「コシヒカリ」が9割近くを占め、「あきたこまち」を皮切りに新米の収穫が始まります。本年産の「あきたこまち」は、7月の長雨や低温の影響により生育はやや遅めとなりましたが、収量は平年並とみられ、品質は良好でした。



出発式でのテープカット

2 消費者交流会（新米試食会）

初出荷式の式典後の会場では、地元消費者や生協組合員などを招いた消費者交流会が開催されました。

化学合成農薬の使用回数の低減など、安全・安心な生産に取り組み、「安心あいち米」として売り出している県産米を味わってもらおうと、夏休み中の子ども達や消費者に新米のおにぎりが振る舞われました。また、県が育成した小麦「きぬあかり」を製麺したきしめんも提供され、参加者に喜ばれました。



消費者交流会の様子

ラグビーワールドカップ 2019in 愛知・豊田で地元の食をPR

豊田加茂農林水産事務所

本県と豊田市が共催するラグビーワールドカップ 2019in 愛知・豊田の開催に合わせて、豊田市駅前を中心に観戦客に向けた様々なおもてなしイベントが開催されます。

その中で、豊田市内の飲食店や地元の製造業者が出店し、とよたの特産品販売等を行い、地元の食をPRします。

1 WELCOME とよたフェスタ（飲食ブース）

豊田スタジアムでの試合開催日に合わせて、豊田の魅力を楽しんでもらうためのイベントが開催されます。飲食ブースでは、五平餅や鮎など、豊田市にちなんだ食材や料理を味わっていただけます。

○場 所：豊田 GAZA 南広場（豊田市駅東側）

○日時及び店舗数：

① 9月23日（月・祝） 11時～19時
9店舗

② 10月12日（土） 11時～17時30分
11店舗



WELCOME とよたフェスタ
出展物例

2 Beer & Farm Toyota

豊田市内の飲食店が出店して、食と飲み物で楽しい空間を作ります。

○場 所：豊田 GAZA 南広場（豊田市駅東側）

○日 程：9月27日（金）～10月5日（土）

○時 間：試合開催日（9月28日、10月5日） 11時～22時
試合開催日以外 16時～22時

○店舗数：各日8店舗

3 まるごととよた展

とよたの銘菓、地酒、農産物等の特産品販売等を通じて豊田市の産業を体感していただけます。

○場 所：豊田参合館（1階及び2階）

○日時及び店舗数：

① 9月23日（月・祝） 20店舗

② 9月28日（土） 20店舗

③ 10月5日（土） 19店舗

④ 10月12日（土） 20店舗

※開催時間は全日 10時～18時



まるごととよた展
商品例

愛知県産いちじくに求められている課題について

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

平成30年の東京都中央卸売市場へのいちじく総入荷量は約1,000 t となり、その内51% (511 t) を愛知県産が占めています。時期別では、施設物が中心の7月まではほぼ独占状態で、露地物に切り替わり競合産地が出回る8月中旬以降も約4割を占めます(図1)。首都圏におけるいちじくの動向や産地に求められる課題などを紹介します。

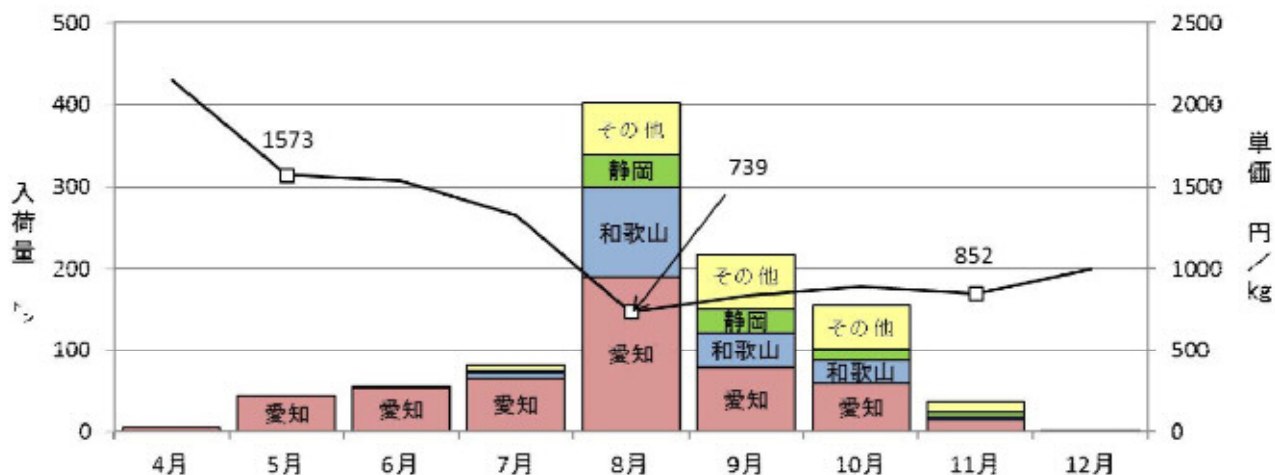


図1 東京都中央卸売市場におけるいちじく入荷状況および単価推移 (平成30年)

1 どこで売ってるんですか？

首都圏でいちじくの話をする時、いちじくファンが多いことに驚きます。JAあいち経済連と外食チェーンが連携して、一昨年、昨年と2年続けて開催したいちじくフェアでは、いちじくパフェの販売数が王道のいちごパフェを上回り、異業種交流会などでは「いちじく」を題材にした回は毎回人気となります。しかし、多くの場合、「いちじくが好き」という言葉に続くのは「どこで売ってるの?」という問いです。「いちじくが好きな人でも、どこで買えるかわからない、産地も知らない」というのが現状です。

2 売場を大きくできない

首都圏でのいちじくの認知度や販売環境は、愛知のそれとは異なります。愛知と比べていちじくが一般的でない理由としては、人口に対する「流通量が少ない」ことが要因として挙げられます(図2)。さらに加えて、いちじくは入荷の増減の波が激しく、量販店の「一度作った売場を維持しづらく、大きくするとリスクが高い」という判断から大きな売場が確保できないことも問題だと思われれます。

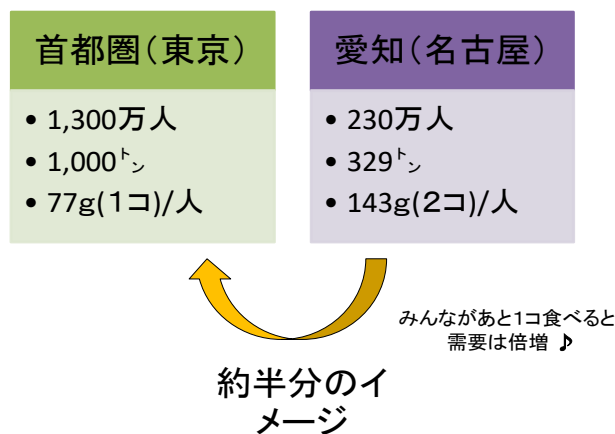


図2 首都圏、愛知のいちじく年間流通量と1人あたりの消費量

3 ピークはいつ来るか、8月の出方は？

いちじくは、例年お盆前後を境に施設物から露地物に切り替わり、入荷量が急増して最盛期を迎えます。この「8月の急増」に対して、産地・市場は価格の下落を抑え、店舗も売場を確保し、お互いに協調して特売を仕掛けるなど需要喚起が行われます。

しかし「突然の欠品・増加」や「日単位での大きな増減」、「作柄状況等の伝達不足」などは、作り上げた販売環境を壊しかねません。ここでの対応が、産地の信頼を高め、いちじくの商品としての魅力を向上させ、売場を拡大するカギとなります。



市場の冷蔵庫に入荷されるいちじく

4 安定出荷と出荷予測

これまでも産地は、消費地の要望に応えるべく新たな技術を導入し、品種を更新し、時には選果体制なども変えながら、全国一のいちじく生産地を作ってきました。(表1)。需要に伸びしろを感じる首都圏において、今後特に必要となるのは「安定出荷」と「出荷(時期・量)予測」と思われます。

表1 主な課題とこれまでに実施されてきた対策

課題	対応策
アザミウマ	サマーレッドへの更新、反射マルチ、薬剤散布(重点防除)
腐敗果、カビ	屋根かけ、傘かけ、薬剤散布
株枯病	産地内育苗(安全域内での苗木供給)
飛び節	新梢本数(受光改善)
わい化	剪定時期の適正化、客土
労力不足	パッキングセンター、バラ受け選果

5 精度の高い情報発信を

出荷量は天候等により左右されやすく、販売や集出荷担当者だけによる予想は困難です。産地の生産者、JA、普及指導員等が協力して出荷予測を行い、それを持ち寄り、積み上げ、適宜発信することが必要と思われまます。その年の予想が外れても、毎年の蓄積で徐々に精度を上げることが重要で、予測の精度が高まることで、他産地にはない独自の強みや付加価値、信頼に繋がります(表2)。

昔からの課題ですが、安定出荷と精度の高い出荷予測により販売環境の劇的な改善が期待できるのがいちじくです。産地が思う以上に、安定した供給・販売体制が待ち望まれています。

表2 確かな情報が産地の強みに

【小売からの質問】

- 「いつから出る？何日(何週)から増える」
- 「生育は前進傾向？遅れ気味？」
- 「玉の肥大と着色は？」
- 「3日後、1週間後の出荷量は？」
- 「飛び節の発生状況は？」



- ・首都圏で答えられる情報が少ない
- ・どの産地も明確な答えを持たない
⇒だからこそ、独自の強みとなる

「かりもり」のほ場見学と漬け込み体験事業を実施しました

園芸農産課

「かりもり」は、長さ 20cm ほどのウリ科の果実で、「あいちの伝統野菜」に選定されています。歯切れの良い食感で、酒粕やしょうゆで漬け込んだ漬物に適しています。

愛知県は古くから野菜生産が盛んな地域であり、野菜を加工する漬物業も発展してきました。そこで、あいちの伝統野菜である「かりもり」を取り上げ、ほ場見学・漬け込み体験を通して「学ぶ」、体験事業を実施しました。

1 体験事業の概要

農林水産省の「食料産業・6次産業化交付金」を活用し、愛知県内在住の方を対象に参加者を募集したところ、30名の応募がありました。参加者には今回の体験内容について SNS 等での情報発信をお願いし、あいちの「かりもり」を広く PR していただきました。

開催日：令和元年7月27日（土）

場 所：江南市、丹羽郡扶桑町

内 容：「かりもり」ほ場の見学や漬け込み体験など

2 「かりもり」ほ場の見学

江南市の生産ほ場の見学を行いました。愛知北農業協同組合が、「かりもり」栽培などについて説明し、参加者から多くの質問が出されました。



3 漬け込み体験

扶桑町にある漬物製造会社の（株）扶桑守口食品へ移動して、「かりもり」の白醤油漬けや粕漬けの漬け込み体験を行いました。家庭でもできる簡単な方法であったため、「ぜひ実践したい」との声があがりました。



「かりもり」ほ場見学の様子

「かりもり」の漬け込み体験

体験後に実施したアンケートでは、「もっと野菜を食べようと思う」、「地元産のものを選ぶ意識が高まった」などの回答がありました。

本県では、今回の体験事業の様子を紹介したパンフレットを作成し、「かりもり」を PR していきます。

愛知のふるさと食品コンテストを開催しました

食育消費流通課

愛知県では、県産農林水産物を活用した加工食品（＝ふるさと食品）の新たな需要を掘り起こし、農林水産物の生産振興に資することを目的として、「愛知のふるさと食品コンテスト」を毎年開催しています。



本年度は、令和元年8月1日（木）に名古屋市西区のあいち産業科学技術総合センター食品工業技術センターで開催しました。有識者、食品製造関係者、食品流通業者、一般消費者及び県職員の9名により審査が行われ、株式会社 お亀堂の「ブラックサンダーあん巻き」が最優秀賞に選定され、株式会社 坂角総本舗の「なごや天麩羅」、百年柿園ベル・ファームの「百年のかけら 次郎柿チップス」が優秀賞に選定されました。

1 最優秀賞（愛知県知事賞）の概要

ブラックサンダーあん巻きは、地元豊橋に主力工場がある有楽製菓との地域活性化を目指したコラボ商品で、生地は愛知県産の小麦粉「きぬあかり」と「もち姫」、餅粉、加工デンプンをブレンドしたものです（表1）。審査員からは「皮とチョコレートのコラボがうまいっている」、「食感が楽しい」などの講評がありました。この商品は、直営自社店舗、豊橋キヨスク、東三河地域のスーパーで購入できますので、自分へのご褒美やお土産にいかがでしょうか。

今回、最優秀賞に選定されたブラックサンダーあん巻きは、一般財団法人食品産業センターが主催する全国のコンクールに愛知県代表として推薦されます。

表1 ブラックサンダーあん巻きの概要

名称	ブラックサンダーあん巻き	 
申請者	株式会社 お亀堂（豊橋市）	
発売開始日	2017年11月1日	
価格(税別)	538円/箱	
原材料	卵、砂糖、ブラックサンダー、きぬあかり、もち姫	
商品内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地元豊橋に主力工場がある有楽製菓との地域活性化を目指したコラボ商品。 ・生地は愛知県産の小麦粉「きぬあかり」と「もち姫」、餅粉、加工デンプンをブレンド。もっちりとした食感が味わえる。 	
審査講評	<ul style="list-style-type: none"> ・皮とチョコレートのコラボがうまいっている。 ・食感が楽しい。 	

2 優秀賞（愛知食品産業振興協会会長賞、農業水産局長賞）の概要

優秀賞の2点としては、なごや天麩羅が愛知食品産業振興協会会長賞に、百年のかけら 次郎柿チップスが農業水産局長賞にそれぞれ選定されました（表2）。

なごや天麩羅は、1枚のお煎餅の約8割に海老を使用した商品で、小麦粉を使用していないため、より海老の味が強調されています。海老の天ぷらをイメージした、新しい名古屋土産を目指して、「なごや天麩羅」という名前が付けられています。新しい名古屋土産になることが期待できそうです。

百年のかけら 次郎柿チップスは、豊橋市で百年余り柿の生産を行っている「ベル・ファーム」が開発した商品です。豊橋産の次郎柿を100%使用して、減圧フライ製法により、香料・着色料無添加でサクサクとした食感と鮮やかな柿色が特徴のチップスです。5月にオープンした「道の駅 とよはし」で購入することができます。軽くて常温保存できますので、お土産にいかがでしょうか。

表2 なごや天麩羅、百年のかけら 次郎柿チップスの概要

賞	愛知食品産業振興協会会長賞	農業水産局長賞
		
名称	なごや天麩羅	百年のかけら 次郎柿チップス
申請者	株式会社 坂角総本舗（東海市）	百年柿園ベル・ファーム（豊橋市）
製造開始日	2019年3月19日	2018年4月1日
価格 (税別)	463円/箱	500円/袋
原材料	えび、でんぷん	次郎柿、植物性油脂、麦芽糖、ビタミンE
商品内容	<ul style="list-style-type: none"> ・天然海老が約8割たっぷり入った。さくっとした食感。 ・名古屋でしか買えない新名古屋土産。 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊橋産次郎柿を100%使用。 ・皮ごとスライスして低温減圧製法で処理している。
審査講評	<ul style="list-style-type: none"> ・えびの味が良く感じられる。 ・えびせんの旨さが出ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さくさくとした食感が良い ・ほのかな甘みが良い。

愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ±1%台以下
 わずか : ±2%台
 やや : ±3～5%台
 かなり : ±6～15%台
 大幅 : ±16%以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：いちじく）

	入荷量 (t)		卸売価格 (円/kg)		前年の主な産地 (上位3産地)
		うち愛知産		愛知産	
30年実績	346	346 (100%)	849	849	— — —
元年見通し	400	—	800	—	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知からはほぼ全量を入荷する。平年に比べ生育が遅れているほか、高温・干ばつにより肥大不足や日焼け果の発生が見られ、8月の入荷量は少なかった。9月の見通しは着果は多いものの、天候不順の影響が懸念されるほか、中段では高温による果実の萎れもみられ、入荷量の少なかった前年に近い数量となる可能性もある。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>			<p>本年は7月の長雨や8月の高温・干ばつにより盆前後からここまでの入荷量が例年より減少している。9月も天候不順の影響や台風被害で入荷が不安定となることも予想され、生育状況や出荷予測などの綿密な情報交換を引き続きお願いしたい。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：ぎんなん）

	入荷量 (t)		卸売価格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		愛知産	
30年実績	316	95 (30%)	1,514	1,809	茨城 (12%) 福岡 (10%) 静岡 (10%)
元年見通し	350	—	1,350	—	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知産の入荷は、8月下旬から始まり、9月から本格化、10月にピークを迎える。本年の作柄は猛暑の影響が心配されるも、主要2品種である「久寿」は着果が多く、「藤九郎」はやや少ない状況で、全体的には平年並と予想される。入荷量は台風被害により減少した前年を上回る見込みだが、今後の台風次第とみられる。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値となった前年をかなり下回る見込み。</p>			<p>ぎんなんは秋の味覚として業務筋を中心に人気が高い。愛知産は品質・選別ともに良好で、今後も継続した取組をお願いしたい。</p> <p>9月は高温、多湿の日が多く、カビの発生が懸念される。磨きのムラがカビの発生を助長するため、出荷に際しては選別や品質保持の徹底をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の9月の見通し

名古屋中央卸売市場

※グラフは白抜き箇所が見通しとなります。

8月19日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	26年	32,269	234	230	240	238	北海道 42%
	27年	35,201	258	249	264	251	長野 23%
	28年	34,546	246	255	253	227	群馬 11%
	29年	35,398	223	243	229	200	青森 5%
	30年	32,706	257	265	262	242	茨城 4%
	5ヵ年平均	34,024	244	—	—	—	
	元年見通し	32,700	223	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道を中心に長野などから入荷する。7月の長雨や8月の高温で葉菜類などでは入荷減を見込む品目もある。北海道の品目は天候不順の影響を受けた前年より増量するが、全体では前年並の数量となるか。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
だいこん	26年	1,983	124	132	127	118	北海道 47%
	27年	2,179	112	114	116	113	青森 45%
	28年	1,704	133	131	136	143	岐阜 6%
	29年	2,009	99	97	121	89	長野 3%
	30年	1,997	113	118	118	111	
	5ヵ年平均	1,974	116	118	123	114	
	元年見通し	1,900	110	110	110	110	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、青森を中心に入荷する。8月前半は入荷減となったが、7月の潤沢な入荷と天候不順による品質低下により、価格が低迷した。これから増量していくが、気温の低下で消費も増え、価格は回復するか。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>							
にんじん	26年	2,361	123	128	127	117	北海道 99%
	27年	2,182	159	167	170	146	中国 1%
	28年	1,263	336	282	388	342	
	29年	2,412	89	84	91	92	
	30年	1,773	194	157	202	218	
	5ヵ年平均	1,998	162	151	174	164	
	元年見通し	2,000	120	120	120	120	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道からほぼ全量を入荷する。北海道は肥大不足による小玉傾向がみられる。また、播種時期に突風により蒔き直しをした地区もあり、中旬以降は入荷量が減少する可能性もある。入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>							

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

8月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	26年	133,870	271	290	268	256	北海道 29%
	27年	133,468	284	277	297	280	長野 17%
	28年	131,610	270	261	270	279	群馬 15%
	29年	137,023	240	261	249	212	青森 7%
	30年	121,299	282	289	290	267	茨城 6%
	5ヵ年平均	131,454	269	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	131,000	255	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北日本、関東周辺高冷地からの入荷となる。9月は遅れから回復した品目を中心に潤沢な入荷が予想され平年作を見込むも、台風で一変する可能性もある。前年が不作だった北海道の土物類は豊作傾向。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
だいこん	26年	12,945	122	131	120	114	北海道 56%
	27年	13,486	110	111	110	110	青森 39%
	28年	11,218	134	131	133	136	岩手 3%
	29年	11,768	97	100	109	83	群馬 1%
	30年	10,201	115	126	114	108	栃木 1%
	5ヵ年平均	11,924	115	120	117	110	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	11,500	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、青森からの入荷が中心となる。8月の高温による品質低下は気温の落ち着きとともに解消に向かい、9月は安定した入荷を見込む。生育、入荷ともに順調も秋刀魚の不漁が引き合いへの懸念となるか。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
にんじん	26年	8,455	114	116	117	109	北海道 95%
	27年	7,847	155	160	163	141	中国 4%
	28年	6,359	271	223	304	291	青森 1%
	29年	8,657	82	78	79	88	
	30年	6,148	183	151	190	207	
	5ヵ年平均	7,493	153	140	162	158	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	7,200	90	100	80	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。前年は7月の天候不順で入荷量を減らしたが、今年はやや生育遅れの産地が散見されるものの、中旬以降は持ち直し安定入荷が見込まれる。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高騰した前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

8月19日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	26年	2,061	146	189	131	150	長野 97%
	27年	2,141	133	131	171	110	北海道 3%
	28年	2,198	91	83	103	94	
	29年	2,470	107	120	123	90	
	30年	2,468	113	99	108	127	
	5ヵ年平均	2,268	117	123	126	114	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	2,200	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野を中心に入荷する。8月の高温により、長野の生育状況は良くない。8月現在の入荷物は小玉傾向だが、この傾向が9月も続く見込みで、入荷量は順調な入荷となった前年や前々年を下回るか。入荷量と価格はともに前年をかなり下回る見込み。</p>					
キヤベツ	26年	4,638	132	126	135	145	群馬 67%
	27年	4,304	134	117	142	150	長野 20%
	28年	4,472	99	91	109	102	北海道 12%
	29年	4,574	97	95	106	92	茨城 1%
	30年	4,851	85	84	87	85	
	5ヵ年平均	4,568	109	102	115	114	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	4,300	96	96	96	96	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬を中心に長野、北海道などから入荷する。群馬は6～7月の長雨と、その後の高温・干ばつで盆前後の入荷量が平年より大きく減少した。その後の入荷は増加傾向で、9月はある程度回復してくるか。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ほうれんそう	26年	193	817	996	795	712	岐阜 82%
	27年	173	859	845	952	843	茨城 6%
	28年	149	902	980	923	834	長野 4%
	29年	187	797	860	817	751	愛知 4%
	30年	145	892	867	966	872	静岡 1%
	5ヵ年平均	169	849	910	884	796	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	150	850	900	850	800	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>岐阜の飛騨地域を中心に入荷する。岐阜は8月上旬の高温で播種が上手く行えず、9月前半は少なめの入荷量となる見込み。入荷が増加するのは下旬からとなるか。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

8月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	26年	9,321	146	177	131	135	長野 90%
	27年	10,601	127	120	155	108	北海道 6%
	28年	10,490	91	76	103	91	群馬 4%
	29年	10,701	103	117	118	83	
	30年	10,869	111	103	106	122	
	5ヵ年平均	10,396	115	117	122	107	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	10,000	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野からの入荷が中心となる。主産地の長野ではこれまでの日照不足、長雨により肥大不良、病害発生が散見される。後半は根張りが良いため幾分の回復が期待できるも、今後の長雨や台風次第となる。入荷量と価格はともに前年をかなり下回る見込み。</p>					
		<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移。数量は10月～12月にかけて増加傾向にあり、1月～3月は減少傾向にあり、4月～9月は比較的安定している。単価は10月～12月にかけて減少傾向にあり、1月～3月は増加傾向にあり、4月～9月は比較的安定している。</p>					
キヤベツ	26年	15,336	140	131	140	151	群馬 78%
	27年	15,784	142	122	148	155	岩手 12%
	28年	16,932	96	84	106	100	長野 7%
	29年	17,258	93	91	104	84	北海道 1%
	30年	16,827	78	75	80	79	茨城 1%
	5ヵ年平均	16,427	109	100	115	112	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	16,500	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、岩手からの入荷が中心となる。群馬の8月までの遅れは徐々に解消し、9月には平年並に戻ると見込まれる。畑にもものはあるものの、作業労力などの制限があり平年並以上の入荷はないとみられる。入荷量は前年並となり、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					
		<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移。数量は10月～12月にかけて増加傾向にあり、1月～3月は減少傾向にあり、4月～9月は比較的安定している。単価は10月～12月にかけて減少傾向にあり、1月～3月は増加傾向にあり、4月～9月は比較的安定している。</p>					
ほうれんそう	26年	1,034	728	964	717	597	群馬 40%
	27年	909	846	886	948	747	栃木 21%
	28年	749	917	1,109	833	832	茨城 15%
	29年	1,028	681	872	658	584	岩手 8%
	30年	790	798	770	987	666	千葉 4%
	5ヵ年平均	902	785	917	817	675	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	850	750	750	750	750	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬など関東高冷地と岩手、岐阜からの入荷が中心となる。各産地ともこれまで高温により入荷を減らしたが、今後は気温低下とともに回復し、9月は一部で病害虫の発生が懸念されるも十分な入荷を見込む。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
		<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移。数量は10月～12月にかけて増加傾向にあり、1月～3月は減少傾向にあり、4月～9月は比較的安定している。単価は10月～12月にかけて減少傾向にあり、1月～3月は増加傾向にあり、4月～9月は比較的安定している。</p>					

名古屋市中央卸売市場

8月19日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	26年	1,078	357	389	352	341	北海道 45%
	27年	913	448	409	493	450	長野 18%
	28年	856	404	382	402	443	秋田 7%
	29年	989	393	399	391	392	中国 6%
	30年	773	500	472	533	494	富山 5%
	5ヵ年平均	922	415	408	428	418	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	900	370	370	370	370	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>普通ねぎは北海道、白ねぎは長野と北海道を中心に入荷する。北海道、長野はともに生育順調で、長雨や台風の被害を受けた前年を上回る入荷を見込む。他産地も作柄良好で平年に近い入荷量となるか。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
しそ	26年	2,122	291	319	303	269	長野 96%
	27年	1,998	298	225	359	341	茨城 2%
	28年	2,085	232	248	223	236	愛知 1%
	29年	2,297	171	222	171	127	
	30年	2,371	192	179	198	202	
	5ヵ年平均	2,175	234	237	247	231	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	2,300	180	180	180	180	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野を中心に入荷する。7月までは前年に近い潤沢な入荷だったが、8月前半は長雨と高温の影響で一時入荷量が減少した。9月は高温障害で若干数量は減るが、台風等の被害がなければ順調な入荷となるか。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安値だった前年をかなり下回る見込み。</p>					
きゅうり	26年	1,245	380	471	339	341	長野 31%
	27年	1,263	415	473	452	347	北海道 24%
	28年	1,381	351	335	329	404	群馬 17%
	29年	1,419	310	373	307	258	山梨 13%
	30年	1,300	431	428	456	407	茨城 4%
	5ヵ年平均	1,321	376	413	375	350	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	1,300	400	400	400	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>夏秋作の長野や北海道、抑制作の群馬や山梨を中心に入荷する。夏秋作は前進出荷しており、入荷量が減少する時期は平年より早いとみられる。抑制作は順調な入荷を見込む。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

8月30日現在

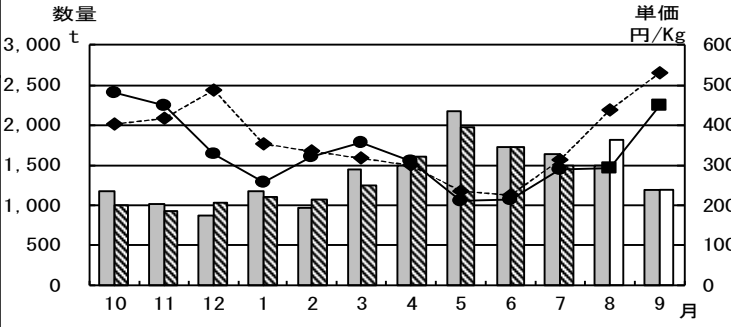
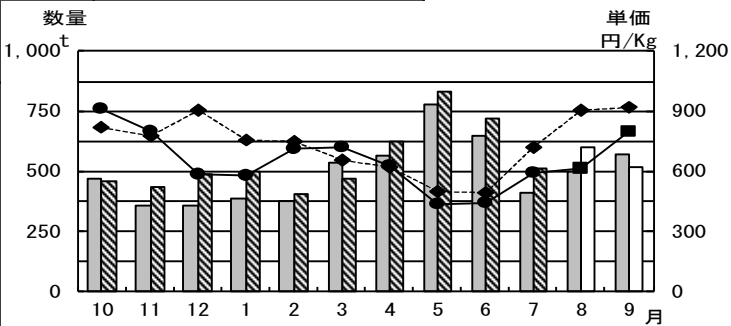
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	26年	5,667	304	330	304	279	青森 28%
	27年	5,162	435	400	482	426	秋田 20%
	28年	4,788	423	379	410	482	北海道 14%
	29年	5,242	378	380	375	377	茨城 7%
	30年	4,479	484	454	535	465	山形 7%
	5ヵ年平均	5,068	400	386	416	400	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	4,800	370	350	360	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森、秋田、北海道、茨城からの入荷が中心となる。青森は高温・干ばつの影響を受け、遅れと細物傾向がみられる。他産地は作付けを伸ばしており、生育状況も順調であるため入荷は潤沢と見込まれる。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
し	26年	7,769	312	367	322	250	長野 81%
	27年	8,192	315	236	389	334	群馬 11%
	28年	9,674	229	253	217	216	茨城 4%
	29年	9,391	175	245	173	124	岩手 2%
	30年	8,345	197	186	206	199	千葉 1%
	5ヵ年平均	8,674	242	256	257	221	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	8,000	160	140	180	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野を中心に、群馬などからの入荷となる。両産地とも多雨による日照不足、低温などで生育は遅延気味となっている。今後は病害の発生も懸念され、入荷は少なめで推移すると見込まれる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
きゅうり	26年	7,096	345	433	301	307	福島 29%
	27年	6,876	374	435	388	313	群馬 13%
	28年	7,626	314	287	297	369	岩手 13%
	29年	7,790	283	360	280	228	埼玉 11%
	30年	6,719	395	406	410	361	茨城 8%
	5ヵ年平均	7,221	340	382	332	314	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	6,800	320	350	330	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>東北から関東産地への移行時期となる。東北産は成り疲れなどから量を減らすも、後続の関東産が空いた穴を埋める。8月末に品薄感から一旦は急騰するも、その後は関東産の増加に伴い価格は下げに転じる。 入荷量は前年並となり、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

8月19日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	26年	777	337	414	356	259	愛知 28%
	27年	688	391	345	420	410	山梨 19%
	28年	734	321	292	321	371	茨城 14%
	29年	756	335	340	374	292	徳島 14%
	30年	549	408	355	486	414	群馬 12%
	5ヵ年平均	701	355	350	385	344	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	600	350	350	350	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、山梨、徳島などから入荷する。前年は9月の台風被害により入荷量が大きく減少した。本年は長雨や高温・干ばつの影響を受けているが、台風の被害がなければ前年程の減少とはならないか。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ト マ ト	26年	1,217	463	405	445	606	岐阜 48%
	27年	1,290	477	467	499	466	北海道 26%
	28年	1,578	350	317	349	406	愛知 9%
	29年	1,290	474	551	480	403	熊本 6%
	30年	1,195	530	590	499	494	千葉 5%
	5ヵ年平均	1,314	453	458	449	470	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	1,200	450	450	450	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>岐阜を中心に北海道、愛知などから入荷する。8月前半は前年を上回る入荷で推移したが、7月の曇雨天続きの影響で着花は悪く、後半は減少した。9月は気温低下もあるため、落ち着いた入荷となるか。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	26年	375	936	857	913	1,097	北海道 78%
	27年	439	1,026	899	1,168	1,008	長野 7%
	28年	463	700	616	659	868	茨城 6%
	29年	513	916	1,004	919	836	愛知 5%
	30年	571	919	1,022	875	855	岩手 2%
	5ヵ年平均	472	898	889	903	920	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	520	800	900	800	700	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道を中心に長野、愛知などから入荷する。トマト同様に8月前半は前年の入荷を大きく上回った。9月も順調な見通しで、大きく増量した前年には及ばないが、平年を上回る入荷を見込む。入荷量と価格はともに前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

8月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	26年	3,913	360	393	378	303	群馬 30%
	27年	3,280	411	400	418	417	栃木 29%
	28年	3,860	367	328	330	498	茨城 22%
	29年	4,084	331	364	377	262	埼玉 5%
	30年	3,281	424	394	507	372	高知 2%
	5ヵ年平均	3,684	376	374	398	367	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	3,300	350	340	360	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、栃木、茨城など関東産地からの入荷が中心となる。7月の生育遅れ、8月の回復による潤沢な入荷を経て、9月は落ち着いた荷動きが予想される。各産地とも病害虫が散見され、今後留意が必要。 入荷量は前年並となり、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ト マ	26年	6,718	434	374	406	568	北海道 19%
	27年	6,680	449	480	426	443	青森 17%
	28年	8,556	329	294	321	387	千葉 15%
	29年	7,238	429	518	426	359	福島 14%
	30年	6,475	500	516	499	481	茨城 8%
	5ヵ年平均	7,133	423	430	410	443	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	7,000	350	300	350	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、青森、千葉などからの入荷となる。東北各産地は8月の急増の反動で数量を減らし価格は上向く。関東各産地は概ね生育良好で数量も安定するか。全体的には平年並の作柄になると見込まれる。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高騰した前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	26年	1,664	856	793	830	960	北海道 33%
	27年	1,674	930	847	1,002	942	茨城 24%
	28年	2,016	629	545	606	773	青森 14%
	29年	2,107	835	963	873	700	千葉 7%
	30年	2,037	873	996	830	782	岩手 6%
	5ヵ年平均	1,900	820	831	822	821	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	2,000	650	550	650	750	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、茨城、青森からの入荷が中心となる。北海道は前進傾向。8月に価格を急落させたピークは終息。9月前半に2回目のピークを迎える。気温の低下と共に品質も安定し平年並の入荷が見込まれる。 入荷量は前年並となり、価格は回復しつつも前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

8月19日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	26年	419	455	585	450	367	北海道 33%
	27年	379	518	499	601	534	茨城 28%
	28年	428	380	375	426	434	岩手 23%
	29年	436	402	460	463	393	青森 8%
	30年	410	488	567	526	523	長野 6%
	5ヵ年平均	414	446	496	490	448	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	430	430	430	430	430	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、岩手、茨城を中心に入荷する。前年は北海道、岩手の夏秋作が天候不順で入荷減となったが、本年は上旬まで安定した入荷となる見込み。茨城の秋作も増量した前年を下回るものの、平年より多い。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ばれいしょ	26年	2,906	104	122	110	88	北海道 95%
	27年	3,214	112	119	116	107	青森 4%
	28年	2,783	163	155	183	156	静岡 1%
	29年	2,600	104	114	110	95	
	30年	2,570	123	127	127	114	
	5ヵ年平均	2,815	121	127	129	112	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	2,600	100	110	100	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道を中心に青森の残量も入荷する。青森の残量は上旬に終了する見通し。北海道は非常に豊作傾向で、台風による輸送の乱れ等がなければ、潤沢な入荷を見込む。価格は下落するか。入荷量は前年並で、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	26年	4,951	100	126	102	88	北海道 95%
	27年	5,986	89	104	92	81	兵庫 2%
	28年	6,574	112	152	127	96	愛知 2%
	29年	5,508	71	74	71	71	
	30年	5,044	99	101	105	95	
	5ヵ年平均	5,612	95	113	100	86	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	5,600	75	75	75	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道を中心に入荷する。北海道の前年は天候不順等により数量がかなり減少したが、本年は極早生、早生ともに豊作傾向。9月の出回りは多くなるとみられ、価格は低迷するか。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

8月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	26年	1,977	425	616	381	302	茨城 39%
	27年	1,878	484	443	556	452	岩手 39%
	28年	2,294	309	276	317	340	福島 12%
	29年	2,266	345	358	363	317	青森 8%
	30年	2,156	434	455	419	427	高知 1%
	5カ年平均	2,114	395	423	402	366	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	2,200	325	345	315	315	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、岩手、福島などからの入荷となる。各産地とも8月の高温の影響を受けていたが、気温の低下とともに回復傾向。中旬からは茨城もピークを迎え、全体的に潤沢な入荷が見込まれる。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高騰した前年を大幅に下回る見込み。</p>					
<p>茨城、岩手、福島などからの入荷となる。各産地とも8月の高温の影響を受けていたが、気温の低下とともに回復傾向。中旬からは茨城もピークを迎え、全体的に潤沢な入荷が見込まれる。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高騰した前年を大幅に下回る見込み。</p>							
白菜	26年	8,112	118	127	119	104	北海道 96%
	27年	8,286	119	120	120	118	青森 2%
	28年	7,410	171	169	180	163	長崎 1%
	29年	7,949	108	119	105	100	茨城 1%
	30年	6,330	128	131	131	120	
	5カ年平均	7,617	128	133	130	120	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	8,000	100	110	110	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。主力となる北海道では天候に恵まれ、収穫作業が進む。前年は7月の天候不順により不作となったが、今年は生育も順調で潤沢な出回りが見込まれる。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。主力となる北海道では天候に恵まれ、収穫作業が進む。前年は7月の天候不順により不作となったが、今年は生育も順調で潤沢な出回りが見込まれる。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							
タマネギ	26年	11,293	110	126	106	92	北海道 88%
	27年	11,897	95	102	94	86	中国 6%
	28年	11,133	126	143	126	105	兵庫 5%
	29年	10,651	77	80	77	74	
	30年	9,440	108	111	110	102	
	5カ年平均	10,883	103	113	102	92	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	11,000	85	85	85	85	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷が中心となる。北海道は日照が多く、適度な雨により肥大が良く豊作基調となる。現状では好天が続くと予想されることから順次収穫が進み、安定した入荷が見込まれる。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
<p>北海道からの入荷が中心となる。北海道は日照が多く、適度な雨により肥大が良く豊作基調となる。現状では好天が続くと予想されることから順次収穫が進み、安定した入荷が見込まれる。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

8月19日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	26年	11,361	346	355	357	333	長野 25%
	27年	9,964	371	406	350	365	フィリピン 12%
	28年	9,377	381	370	387	386	青森 10%
	29年	10,006	399	402	414	389	三重 8%
	30年	8,523	431	468	426	414	熊本 8%
	5ヵ年平均	9,846	383	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	8,700	410	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	ぶどう、なし、りんご、みかんを中心に 入荷する。ぶどうは前年よりやや増量する 見通しだが、シャインマスカットが入荷増 の一方、黒系は面積減もあり減少するか。 りんごは概ね前年並の入荷を見込む。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は 前年をやや下回る見込み。						
みかん	26年	1,235	300	483	317	242	三重 46%
	27年	1,331	289	501	286	250	熊本 22%
	28年	1,348	316	483	321	282	宮崎 16%
	29年	1,141	347	539	394	305	佐賀 6%
	30年	1,526	312	416	331	268	愛知 4%
	5ヵ年平均	1,316	312	481	328	269	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	1,300	330	450	330	300	
りんご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	三重を中心に、熊本、宮崎などから入荷 する。佐賀、愛知のハウスみかんは中下旬 頃に終了予定。三重の極早生みかんは前年 よりやや遅れており、階級はM、S中心と なる見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前 年をやや上回る見込み。						
なし	26年	2,494	284	302	283	271	長野 68%
	27年	1,860	306	321	286	319	新潟 8%
	28年	1,911	291	275	288	327	愛知 6%
	29年	2,224	300	313	296	291	富山 5%
	30年	1,516	330	330	329	338	秋田 4%
	5ヵ年平均	2,001	300	307	294	305	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	1,700	320	340	320	300	
しょうゆ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	長野を中心に新潟、愛知などから入荷す る。前年は入荷の前倒しにより、9月入荷 が少なかった。本年は29年に近い動きで、 長野の幸水は中旬頃までの入荷となり、豊 水は中旬にピークを迎える見通し。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前 年をやや下回る見込み。			注：前年の3、5月、本年の4～5月は入荷なしにつき単価を0円/kgで表記			

東京都中央卸売市場

8月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	26年	40,502	331	352	336	307	青森 11%
	27年	37,450	349	373	345	331	長野 9%
	28年	36,650	367	368	368	367	栃木 9%
	29年	37,384	384	394	395	366	茨城 8%
	30年	33,740	430	444	431	414	福島 7%
	5ヵ年平均 元年見通し	37,145 33,800	370 410	— —	— —	— —	— —
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	なし、りんご、みかん、ぶどうなどが入荷する。りんごは生育順調で量的に不足はない。ぶどうは山梨のシャインマスカットが面積増。柿も生育順調で前年並の入荷を見込む。 入荷量は前年並となり、価格は前年をやや下回る見込み。						
み	26年	3,479	263	587	275	215	宮崎 39%
	27年	3,228	269	465	264	229	熊本 25%
	28年	3,390	292	498	286	253	佐賀 18%
	29年	2,824	318	688	347	261	愛媛 6%
	30年	3,311	311	416	311	268	静岡 3%
	5ヵ年平均 元年見通し	3,246 3,300	290 310	527 420	295 300	245 210	— —
みかん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	露地の極早生みかんは沖縄がすでに始まり、9月上旬に切り上がる見込みで、その後九州産地が続く。秋分の日頃からは佐賀産も入荷する予定。宮崎は台風の影響で、擦れ果が若干多いか。 入荷量、価格はともに前年並の見込み。						
なし	26年	11,576	252	287	243	223	栃木 31%
	27年	10,318	247	270	233	233	福島 20%
	28年	10,388	262	254	264	270	茨城 18%
	29年	11,462	260	281	261	239	千葉 15%
	30年	9,938	280	298	273	264	長野 5%
	5ヵ年平均 元年見通し	10,736 10,000	260 280	278 290	255 280	245 270	— —
なし	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	幸水が9月上旬で終了する一方、豊水が徐々にそろい9月末までの販売となる。豊水は茨城や新潟では大玉傾向、福島では小玉傾向と産地によってばらつきがある。また、月末からは新高が入荷予定。 入荷量、価格はともに前年並の見込み。						

注：平成30年5月、平成31年4月、令和元年と5月は入荷なし

切花・鉢花の8月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 8月31日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	26年	2,238	55	
		27年	2,100	58	
		28年	2,302	52	
		29年	2,214	51	
		30年	1,702	62	
	5ヶ年平均	2,111	55		
元年見通し	2,000	55			
概要	愛知、長野、三重などから入荷する。生育順調で概ね平年に近い入荷が見込まれる。中旬からは彼岸需要の引き合いで、動きも活発になってくる。				
小 ぎ	実績	26年	2,203	35	
		27年	2,100	40	
		28年	1,847	33	
		29年	2,006	28	
		30年	1,599	38	
	5ヶ年平均	1,951	35		
元年見通し	1,800	35			
概要	愛知、長野、岩手、埼玉、奈良から入荷する。天候不順の影響で産地により生育にバラツキが出ている。上旬はやや少なめに推移し、中旬には彼岸需要も見込め、堅調な動きになると思われる。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	26年	1,224	50	
		27年	1,250	50	
		28年	1,240	41	
		29年	1,164	44	
		30年	1,259	40	
	5ヶ年平均	1,227	45		
元年見通し	1,200	45			
概要	長野、北海道を中心に入荷する。出荷が8月に集中したため、9月は全体的に少なめ。また令和元年ということで、ブライダル需要が前年よりもあり、相場も堅調と思われる。スプレーは特に少ない。				
か す み	実績	26年	98	168	
		27年	100	150	
		28年	144	84	
		29年	98	157	
		30年	96	134	
	5ヶ年平均	107	134		
元年見通し	100	140			
概要	長野、福島から入荷する。天候次第ではあるが、大きな山がなく、やや少ない見込み。業務需要も活発になってくる季節で、一般需要も見込め、相場は高め。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	26年	367	191	
		27年	380	180	
		28年	375	152	
		29年	332	177	
		30年	289	184	
	5ヶ年平均		349	177	
	元年見通し		290	180	
概要	<p>オリエンタルは新潟、北海道、岐阜、埼玉などから入荷する。全体的に少ない出荷となる見込み。現状さほど高くない相場からようやく上昇するか。LAは埼玉、新潟から入荷する。生育は順調で数量も前年並を見込む。鉄砲は兵庫、愛媛から入荷する。年々9月出荷は減少してきている。彼岸の需要もあり、相場はやや高めが見込まれる。</p>				
洋	実績	26年	584	75	
		27年	560	70	
		28年	524	68	
		29年	483	71	
		30年	410	89	
	5ヶ年平均		512	74	
	元年見通し		450	75	
概要	<p>愛知、鹿児島、静岡などの国内物に加え、輸入物が入荷する。輸入、特にタイ産のデンファレはソニアだけでなく、アンナも増える。単価も安値が出やすくなる見込み。</p>				
ば	実績	26年	831	75	
		27年	860	50	
		28年	754	73	
		29年	757	68	
		30年	555	66	
	5ヶ年平均		751	66	
	元年見通し		650	66	
概要	<p>愛知、岐阜、三重などから入荷する。高冷地、準高冷地も入荷があり、産地が揃い踏みする。敬老やお彼岸とイベントもあり、堅調な引き合いが期待される。</p>				
枝	実績	26年	1,595	47	
		27年	1,700	45	
		28年	1,515	48	
		29年	1,555	48	
		30年	1,346	51	
	5ヶ年平均		1,542	47	
	元年見通し		1,400	50	
概要	<p>愛知、三重、岐阜、和歌山、長野、山形などから入荷する。高齢化も進み、担い手問題から山取りの枝物、季節商材は需要に対応できなく、不安定な動きとなる。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ	実績	26年	24,095	773	
		27年	19,560	798	
		28年	21,815	784	
		29年	20,063	830	
		30年	19,943	845	
	5ヶ年平均		21,095	804	
	元年見通し		19,000	842	
概要	<p>入荷量はやや減少するか。中鉢の7～8号中心の入荷となり、10号や5号未満の入荷は減る見込み。 前年9月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（63.6%）、2位鹿児島（11.5%）、3位沖縄（8.2%）となっている。</p>				
オンシジウム	実績	26年	5,512	638	
		27年	4,321	659	
		28年	4,307	613	
		29年	2,566	735	
		30年	2,969	556	
	5ヶ年平均		3,935	638	
	元年見通し		2,800	554	
概要	<p>入荷量は前年よりやや減少するか。単価の低迷、高齢化や後継者不足が進み、生産量が減っている。販売店での開花スピード、花持ちを予測して固めでの出荷をお願いしたい。仕立ては直立のみだと評価が出にくい状況になっている。アーチ仕立てなどで商品のバリエーションを増やしていただきたい。 前年9月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（50.6%）、2位長崎（20.5%）、3位熊本（14.7%）となっている。</p>				
アンズ	実績	26年	10,808	750	
		27年	5,978	775	
		28年	6,806	688	
		29年	5,640	905	
		30年	5,810	896	
	5ヶ年平均		7,008	791	
	元年見通し		5,800	897	
概要	<p>入荷量は前年並か。作付けに大きな変更はないため、9月の入荷量は前年と同様の見込み。サイズは8号が品薄で、10号、6号、4号主体での入荷が予想される。色別では赤・ピンクが中心と思われる。 前年9月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（91.5%）、2位長崎（6.1%）、3位高知（0.7%）となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シヤコバサ	実績	26年	38,620	396	
		27年	29,935	424	
		28年	29,303	438	
		29年	26,225	422	
		30年	21,093	415	
	5ヶ年平均		29,035	418	
	元年見通し		22,000	409	
概要	<p>入荷量は前年より増加するか。前年は猛暑の影響で花飛びがあり、関東産中心に出荷量が減少したが、今年は7月に曇天が続いたこともあり順調な仕上がり。8月はほぼ埼玉の山上げ物のみだが、9月からは愛知のクーラー物の出荷が始まる。暑さの影響もあり今年も本格的な需要は9月以降の見込み。価格面では、3.5～5.5号までの引き合いが強いが、6号以上は苦戦する見込み。</p> <p>前年9月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(44.1%)、2位埼玉(43.0%)、3位茨城(11.7%)となっている。</p>				
シクラメン	実績	26年	149,159	147	
		27年	160,315	148	
		28年	169,833	143	
		29年	145,689	155	
		30年	116,605	158	
	5ヶ年平均		148,320	150	
	元年見通し		120,000	153	
概要	<p>入荷量は前年よりわずかに増加するか。今年は梅雨が長い為、3号のガーデンシクラメンは例年に比べ前進傾向。早い産地では盆明けもしくは8月末から出荷が始まる見込み。気候次第だが9月上旬頃は販売が厳しいか。4号以上の商品は9月中下旬頃から安定した出荷となる見込み。</p> <p>前年9月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位長野(59.1%)、2位愛知(24.3%)、3位その他(13.6%)となっている。</p>				
カラコエ	実績	26年	64,023	193	
		27年	53,038	195	
		28年	60,907	188	
		29年	48,405	195	
		30年	36,295	205	
	5ヶ年平均		52,534	194	
	元年見通し		37,000	200	
概要	<p>入荷量は前年並か。盆明けより埼玉の山上げ物の出荷が始まり、敬老の日に向けて徐々に増える。前年は猛暑の影響で開花が遅れたが、今年は概ね順調。若干高温障害が出ている。価格面では山上げ物の3.5号ポット、5～6号の八重咲きが比較的安定。岐阜県が主となる2.5号、4号は厳しいと予想される。</p> <p>前年9月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉(61.2%)、2位岐阜(22.9%)、3位茨城(13.6%)となっている。</p>				



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.555
令和元年9月発行
農業水産局農政部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434